



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R7 年度 CS通信No.11 R8.1.9



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

昔の道具を調べに行こう(西海小3・4年)



12月15日(月)3・4年生が校外学習で、旧鳴沢保育所を訪ねました。

旧鳴沢保育所には、昔の道具が2000以上も保管されていて、「生活に使われた道具」「田んぼを耕す道具」「稲と米を分ける道具」「むしろを編む道具」等が部屋ごとに整理されています。

講師は、町教育委員会総括学芸員の中田書矢氏で、「何に使われた道具なのか」「今の道具と昔の道具を比べてみると何が分かるか」等、こどもたちに課題を与えながら学習を進めていきました。

こどもたちは、実際に手で触ってみたり、タブレットを使って撮影したりして調べていました。

今回の校外学習には、学校支援ボランティア6名と地域のお年寄り8名が集まり、こどもたちは地域の方から道具のことを教えてもらいながら、お年寄りとも交流することができました。

校外学習を通して、『今の道具は、電気やガスを使うが、昔の道具は電気やガスを使わない。』

『昔の道具は、手作りなので同じ道具はない。』ということに気づくことができました。

さつまいものおやつづくり(舞戸小1年)



12月22日(月)舞戸小第1学年で、さつまいもを使ったおやつづくりがありました。この日は、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員の渋谷貴子さんの声かけで、学校支援ボランティアが6名集まり、こどもたちの活動を支援しました。

はじめに、学校支援ボランティアの皆さんが、サツマイモとりんごを大きく切り分け、それをこどもたちがさらに小さく切り分けていきました。

次に、卵と砂糖、薄力粉を混ぜた生地にはさつまいもとりんごを入れ、かき混ぜました。学校支援ボランティアの皆さんは、こどもたちが包丁を使うときやかき混ぜるときは、こどもたちの安全に気を配りながら、手を添えて支援していました。

おやつは、200℃に温めた電気オーブンレンジを使って焼き、30分でできあがります。

できあがるまで、学級担任の今先生の指導の下学校支援ボランティアの皆さんといろいろなゲームで交流しました。

全学年で郷土カルタを実施(鯨ヶ沢中学校)



12月23日(火)、2学期終業式の日、全学年で、郷土カルタを実施しました。このうち、第1学年は、A組対B組の団体戦を行いました。

カルタを1枚とる度に応援する生徒の歓声が上がって、会場が大いに盛り上がりしました。

大接戦の末、僅差で破る対戦もあり、勝った生徒や応援した生徒が、大喜びしていました。

A組対B組の団体戦は、11対11の同点で終わり、熱戦を物語っていました。

郷土カルタは、ふるさと学習の一環として取り組んでいて、郷土カルタを通して町の歴史や文化・名所を学ぶことができます。